

研究対象 1

熊本地震に伴う熊本・大分県の本格的な営農再開に向けた大豆・園芸作物等の生育特性等の調査研究

研究内容の背景・概要

<研究の必要性>

熊本地震によりほ場の亀裂や液状化、果樹園の法面崩壊など多大な被害が発生し、水稻の作付けが困難なほ場では、急遽、大豆や飼料作物などの代替作物を播種しており、野菜・果樹などの園芸作物では、地割れや振動による根切れ等の根域への影響や、石垣法面が崩壊した柑橘園における営農活動への影響が懸念されている。

このため、本年度の収量確保や来年度の本格的な営農再開に向けて、緊急的に生育特性調査研究等を実施する必要がある。

<研究内容>

- ① 亀裂修復水田・水確保が不安定な水田における適切な水管理・肥培管理の調査研究及び水稻の生育特性調査
- ② 水稻代替作物として晩播された大豆、飼料作物等の生育特性調査
- ③ 液状化及び法面崩壊に伴う園芸作物等の生育特性調査
- ④ 農地修復に伴う強酸性土壌の混入状況調査 等を行う。

本研究対象では、上記①～④を併せて実施できる研究機関（研究グループ）を公募します。採択は1件を予定しています。

【研究実施期間及び研究費上限額】

上記研究については、本年度内に終了することを求めます。なお、研究費については、1千万円を上限とします。

担当

農林水産省 農林水産技術会議事務局

研究統括官（生産技術）室 内田

TEL：03-3502-2549（直通）